
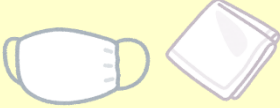



新型コロナウイルス感染症予防に向けて ～家庭との連携～

鴻巣市立吹上小学校の取組

令和2年6月

	学校での対応	ご家庭へお願いしたいこと
登校前	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での毎日の健康観察表の記入と検温をお願いし、全校児童への実施と把握を徹底する。 発熱や風邪等の欠席、感染予防のための欠席、濃厚接触の場合の欠席は、出席停止扱いとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムで過ごし、体調を整え、健康管理に努める。 自宅での健康観察表の記入と検温の徹底。 発熱時（平熱より明らかに高い場合）は、自宅で休養する。風邪症状がある場合も同様に自宅で休養し、無理をして登校しない。 <u>発熱欠席の場合、学校への欠席連絡は電話のみとし、班長等を通して連絡帳を学校に届ける等はしない。</u> マスク、水筒の持参。 (水筒は、夏場は少し大きめの物で)
登校時 登校後	<h3>健康観察・手洗い・マスク・換気</h3> <ul style="list-style-type: none"> 登校前に教室の窓を開放し、換気に配慮する。 必要に応じてエアコンで室温調整をし、扇風機も活用する。 教室入室時に、手洗いの実施を徹底する。 登校後すぐに健康観察表で発熱等の風邪症状がないか確認し、発熱に限らず風邪症状や体調不良がみられる場合は、検温等を再度行う等の健康観察を実施した上で、原則帰宅（早退）させる。 検温を忘れた場合は、学校で実施する。（共有の体温計を使用した後は、体温計を消毒する） 	<ul style="list-style-type: none"> <u>マスクの着用。</u> 水筒の持参。 つめは短く切る。 ハンカチとティッシュを、服のポケットに持参し、常に使用できるようにしておく。 マスクを正しく着用させる。 (鼻と口が必ずかくれるように！) マスクの大きさにも注意する。 (小さすぎないように！) <u>登校中、マスク忘れて家に戻ることはないよう、ランドセルに予備のマスクを入れておく。どうしてもない場合は、学校で配付もあるということをお子さんと確認しておく。</u> 
学校生活	<h3>全員マスク着用</h3> <ul style="list-style-type: none"> 室内では、原則、全員マスクを着用する。 マスクを忘れた場合は、学校で配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> マスクの持参、着用。 必要に応じてフェイスタオル等の用意を。 
<p>* 室内ではマスクを着用、外遊びでは体育授業に準じて、マスクを着用しなくても良いが、近距離での会話や接触は避け、外遊びから帰ったら、手洗い・うがい・顔洗いを行う。</p>		<h3>手洗い、咳エチケットの指導の徹底</h3> <ul style="list-style-type: none"> 正しい手洗いの指導、咳エチケット、マスクの着用方法について、各学級にて指導を行う。

学校での対応

- 健診、検査時に、養護教諭から衛生習慣の保健指導を行う。
- 流しには手洗いの掲示、並び際、間隔を開けるようライン等を引いて、混雑を避ける。
- 流しの使用順を決める等し、混雑を避ける。

換気の徹底

- 教室の窓を、常時2方向以上開放し（エアコン使用時も換気）、休み時間のたびに全開放する。
- エアコンで室温調整をし、扇風機も積極的に使用する。



水分補給

- 水筒による水分補給は、授業に支障がない限りで授業中も可とし、出来る限り頻繁にのどを潤すよう配慮する。
- 水筒置場の間隔は広げ、教室内の水筒置き場がかたまらないよう配置する。
- 熱中症リスクの高い日は特に、こまめな声かけと、補給の見届けを行う。
- 校内の冷水器の使用について、並び方や使い方について事前指導を行い、使用後は機械の消毒を行う。

間隔の確保

- 教室内の机の間隔は、前後左右できる限り広げる。
- 移動教室、整列時は、人と人との間隔を、1メートルはとるようにする。
- 身体の接触を伴う活動は出来るだけ避ける。
- 机を寄せ、班で話し合う活動は、当面控える。
- 狭い空間、密閉状態での指導は控える。
- 学校生活のどの場においても、ソーシャルディスタンスを保つことを、事前指導する。

出来る限り共有を避ける

- 教材、本、遊具など、共有を避けられない物を使用する時は、使用する前後に必ず手洗いを徹底する。特別教室使用時も同様。
- 必要に応じて、共有した物の消毒を行う。

給食

- 全員が手洗い後に、手指をアルコール消毒する。
- 配膳台は消毒薬で消毒してから使用する。
- 配膳の児童は、給食用に家から準備してきたマスクに交換する。
- 配膳を行う児童、教職員の、健康観察と服装（衛生状況）のチェックを徹底する。
- 体調不良者、直前に欠席のあった児童は、当番をやらせない。

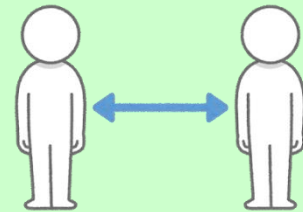
ご家庭へお願いしたいこと



- 冷房の使用で冷え過ぎが心配な場合は、長そで等の羽織るものを持参する。
- 脱ぎ着のしやすい衣服、下着の着用で、体調管理を行う。

- 熱中症予防に十分注意する。
- マスクをしていると、のどの渇きを感じにくいため、熱中症の注意が必要であることを、確認しておく。
- 水筒の中身が不足することのないように、量を調整する。（あげたり、もらったりしない）
- 減った量から、摂取量の多い少ないを毎日チェックし、飲み方について改善が必要な時は声をかける。（減りが少ない時は、こまめに飲むよう話す）
- 自分の水筒以外は、口を付けないことを確認しておく。
- 水筒の衛生管理を徹底する。（消毒など）

- 密を避けること、人との距離をあけること、近距離での会話は控えることを、家庭でも指導する。



- 友達同士で、物の貸し借りはしないように確認しておく。そのためにも、学習用具等の忘れ物のないように注意する。
- 家庭でも、共有のものを触る時は、使用の前後に手洗いをする習慣を身につけておく。



- 給食当番の給食エプロンは、清潔に洗って学校へ返却する。もし、持ち帰った際に、ご家庭に体調不良者がいた場合、エプロンを学校へ返す際に、その旨を担任へ知らせる。（次の子へ使用させないため）

学校での対応

- 当番以外の児童は、給食を取りに行く時以外は自席で静かに待ち、順番が来たら、しゃべらずに間隔をあけて配膳に並ぶ。片付けも同様。
- 食事の際には、机は向かい合わせにせず、前向きで、会話を控えて食事をする。
- 給食を減らす、おかわり等は、教員が行う。
- 当面の間、牛乳パックのリサイクルは行わない。
- 食後の片づけおよび流しが混雑しないよう、順番を調整する。

給食後の歯みがき

- 給食後に、自席にて静かに前を向いてみがき、口をゆすぐ際は、流しが込み合わないよう、調整する。

そうじ



- 無言清掃を徹底する。
- 開始前に、掃除場所の窓を開けるなど換気を徹底し、密閉空間で行わせない。
- トイレ掃除では、使い捨てゴム手袋を活用する。
- 反省会は、距離をとって並ぶよう指導する。
- 清掃終了後には、石けんによる手洗いを徹底する。

休み時間・外遊び

- 右側歩行の徹底。（接触を避けるためにも）
- 必要のない他の教室や他学年のフロアには行かないよう指導する。
- 外から戻ったら必ず石けんで手洗いをを行う。
- 共有の遊具を使う際は、**使用の前後**に手洗いをを行うよう指導する。
- 熱中症リスクを下げるため、マスクは着用しなくてもよいが、外したマスクの衛生管理を徹底する。

* 外遊びでは体育授業に準じて、マスクを着用しなくても良いが、近距離での会話や接触は避け、外遊びから帰ったら、手洗い・うがい・顔洗いをを行う。

その他

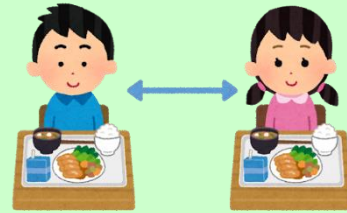
- 感染リスクのある教育活動については、実施時期ややり方について十分協議し、感染症予防を徹底したうえで実施する。
- 感染症に対する偏見や差別をしないよう指導する。
- 人との距離を保つ理由、マナーなどの指導を行う。

* 感染症に対する偏見や差別はいけないということを、学校、家庭の両方において、必ず確認しておくことが大切。特に、『**人との距離を保つ理由**』について丁寧に話す。

- 感染リスクを低減させるためである。
- 相手を遠ざける際に、過剰な言葉は使わない。（「来るな」「あっち行け」等）
- 感染症にかかってしまったら、その人が悪いのではなく、悪いのはウイルスであること。

ご家庭へお願いしたいこと

- 児童の体調管理の視点から、食べ物の好き嫌いを減らしていく。（免疫力を高める努力を）
- 日ごろから色々な食材を食べさせるようにする。




- 歯みがきセット（歯ブラシ・コップ）を忘れずに準備、持参する。
- 歯みがきセットの衛生管理の徹底。（週末に持ち帰り良く洗い、月曜日に持ってくる）
- できるだけ口を閉じて歯みがきができるよう練習しておく。



- マスクを外す際の留意点について確認をしておく。（マスクの表面は触らない、外したマスクはどこに入れておくかなど）
- 必要に応じて、外したマスクを入れておける、使いやすい袋などを準備しておく。



◎ 感染症に対する偏見や差別について、家庭でも必ず、指導を徹底する。

	<h2 style="text-align: center;">学校での対応</h2>	<h2 style="text-align: center;">ご家庭へお願いしたいこと</h2>
<h3 style="writing-mode: vertical-rl;">保健室対応 相談体制</h3>	<ul style="list-style-type: none"> • 保健室には友達の付き添い等は不要。 • 症状が重篤な場合は、教員が付き添うか、職員室へ内線で応援連絡をし、迎えを依頼する。 • 発熱している児童と、その他の症状の児童の入り口を分け、原則、発熱の児童は保健室とは別室で待機させる。(ただし混雑時には、施設面・管理面での課題もあり、この限りではない) • 検温は非接触体温計で、効率よく迅速に行う。 • 保健室内テーブル、保健室内、相談室テーブルは、透明シートを活用し、飛沫感染を防ぐ工夫をする。 • ベット、寝具の利用制限をし、共有を出来るだけ避ける。(消毒面の徹底が不十分なため) • 規則正しい生活、感染症の予防(ポスター・保健だより・資料・保健指導)の実施。 • 換気、消毒を徹底し、感染拡大を防ぐ。 • 児童には、保健室等の体調不良者が利用した場所の掃除はさせない。 • 教職員の健康管理と把握を行う。(出勤前の検温と、勤務前健康チェック表の記入) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>* その他の体調不良の場合も、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 症状が重い • 症状が短時間の休養で回復しない • 持病や軽い熱中症、花粉症などと、症状の原因が特定できない <p>このような場合は、『風邪症状』と判断しますので、速やかにお迎えの対応をお願いします。 ※現在のところ、保健室で長時間、体調不良者を多数お預かりすることは、とてもリスクが高い状況であることをご理解いただき、早めのお迎えにご協力をお願いします。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 発熱等の風邪症状、体調不良(だるさや息苦しさ)があった場合は、速やかにお迎え(早退)の対応をする。 • 帰宅後の様子や、医療機関での受診結果について、速やかに学校へ連絡をする。 • 出席停止期間を厳守する。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>
<h3 style="writing-mode: vertical-rl;">校内消毒</h3>	<ul style="list-style-type: none"> • 放課後等、消毒液を用いて、教職員による教室内、ドア、流し、トイレ、冷水器、階段、特別教室、昇降口、玄関等、共有箇所の消毒を行う。 • 校内消毒で使用した雑巾は除菌を行う。 • 日中は、必要に応じて消毒を行う。 • 発熱等の体調不良者が出た場合には、臨時的に教室内の消毒と換気を行い、他の児童の健康管理に努める。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童が不安を抱く場合には、担任・養護教諭へ相談し、専門員(県スクールカウンセラー)との相談の機会も、積極的に活用する。 • 発熱等の体調不良者について、偏見的な感情を抱かせないように、配慮する。
<h3 style="writing-mode: vertical-rl;">出席停止の扱い</h3>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【出席停止の場合と期間】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発熱等の風邪症状のある場合 ② 本人、同居の家族が感染の場合 ③ 本人が濃厚接触者の場合 ④ 家族が濃厚接触者の場合 ⑤ 保護者の意向 <p>※ ① の場合、お休みする期間は、完全に治った後、2日家で過ごし、3日目より登校可能です。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #f9cb9c;"> <p>* 体調不良により欠席や早退をした場合には、家庭と密に連絡をとり、今後の対応(出席停止期間、登校可能日など)について、共通理解を図る。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の安全を最優先に考え、発熱等の風邪症状がある場合には、自宅で休養させることにより、感染リスクの低減を図る。 • 出席停止の基準を守り、定期的に対応することで、他の児童等の健康安全に配慮する。 • 医療機関を受診する場合には、症状に応じて適切な手順を守り、本人、家族等の安全確保に配慮し、冷静に対応する。